

# 恵 Keiju 寿

先端医療から福祉まで「生きる」を応援します

特集

女性の一生に寄り添う医療



ドクターインタビュー Vol.2

トップランナーに聞く

聖マリアンナ医科大学外科学乳腺・内分泌外科 教授

津川 浩一郎 × 鎌田 徹

恵寿総合病院副院長、消化器外科科長

# 特集



## 女性の一生に寄り添う医療

人種や利害関係を超えて目の前の人に接する事の出来る職業として「医師」の道を選んだという高多佑佳と宮坂麻由子。偶然にもルーツの同じ2人が4月から同じチーム「家族みんなの医療センター」\*で働き始めた。産婦人科医と家庭医、それぞれ分野は違うが志が同じ2人に話を聞いた。

### 女性の一生に寄り添うような医師に

**宮坂**●高校で、国の違い、人種の違い、利害関係を超えて目の前の人に何かできる職業は何かを考えた時に「医療」はその選択肢のひとつなのではないかと考えるようになりました。医学部に入ってからプライベートな経験から「女性」、特に若い女性にとって病院受診のハードルが高いのではないかと考えるようになり、女性の一生に寄り添うような家庭医になりたいと思いました。そこで初期研修後、専門研修プログラムで家庭医研修があるということで恵寿に来ました。

**高多**●私も初めて婦人科を受診したときは、ものすごく抵抗があったことを覚えています。ですので若い女性にとってもよほどのことがないと病院へ行かないのではないかと。例えば乳腺外科にしても、泌尿器科にしても産婦人科にしても女性にとっては敷居が高いと思いますし、仲の良い女性同士でも話さないようなプライベートな部分の病歴を聴取されなければいけません。そんな時に女性医師だから話しやすかったと言ってもらえると自分の存在価値と

どうか、役に立っているのかなという気持ちになります。

**宮坂**●傷ついている人や今は弱っている人、目の前で今困っている人を何とかしたいと思ったことが(高多先生と)似ているのかなと。ルーツが同じというからラジオなお\*で高多先生の医師を目指したきっかけを聴いて「同じだ」と思いました。

**高多**●学生時代の勉強会を通じて元々宮坂先生のことは知っていましたが、ここで同時期に働くことになったのは偶然です。私が来たきっかけは家庭医プログラムで産婦人科研修を行っているところが日本にほとんどなかったことがあります。将来的には家庭医的な医師になりたいとは考えていますが、まずはオールラウンドで診療ができる産婦人科医を目指しています。

### 若い女性にいかに来てもらうか

**宮坂**●個人的には「がん」の診療を出来る人はそれほど多くなくてもよいと思っています。女性の疾患に限って言えば乳がんでも子宮頸がんでも検診受診率が低いことが問題



## 高多 佑佳

Takata Yuka

恵寿総合病院  
家族みんなの医療センター 産婦人科



## 宮坂 麻由子

Miyasaka Mayuko

恵寿総合病院  
家族みんなの医療センター 家庭医療科



です。やはり若い女性が検診を受けやすい施設・体制にしたいですし、乳腺だったり、肛門だったり専門科に行くにはハードルが高いところでも総合的にプライマリの診断ができる医師が必要だと思います。

**高多**●海外では乳腺も子宮頸がんも同じ医師が診ることが一般的ですが、日本では別々の医師が診察しています。日本もそうなったらいいなと思います。

**宮坂**●女性と言えば妊娠中に他の検診もしたいといった需要はあると思います。

**高多**●妊婦さんは産んでしまうと育児に入ってしまうので、その後10年20年受診なしという人がざらにいます。ですから妊婦健診の続きでその他の検診に来ていただきたいですね。20代～30代の方にこそ検診を受けていただきたいですし早期発見したいです。以前、乳がん検診未受診の妊婦さんに「乳がん検診を受けたいですか」とアンケートをとったところ9割以上が受けたいと答えました。妊婦さんにとっては関心があるのに検診のきっかけがないのが現状です。そこをなんとかしたいと思っています。



**宮坂**●そういった年代の人はなにもなければ病院に行かない人たちです。元気で若い方が多い。妊娠期間中はそういった方が10ヶ月間病院に通っていただけるいい機会だと思います。その10ヶ月の間に「乳がんの話」「乳房の手入れ」「子宮頸がんの話」「家族の話」などできたらいいなと思って現在模索しています。

## 地域住民とともに

**高多**●恵寿に来て特に感じるのは地元の人々と生きている病院だなということです。能登の人はお祭りが好きだし地元が好きだと伝わってきます。そういう人々と医療従事者の私に関わるのは人生の困ったときに、なんとかしてほしい時であり、人生の変化の時、苦しい時に頼って来て頂いていると思うので、真剣に向き合わなければいけない瞬間に立ち会っていると感じます。ですからなるべく地元で診療が完結してほしいと感じますし恵寿はそれに応えている。最後の砦だなと感じています。

**宮坂**●転勤が多い医師こそ地域に出向いて地域を知ることが大切だと感じますし、研修医が地元のお祭りに楽しんで参加しているのを見るといいことだなと思います。私もなるべく患者さんの生活や社会背景をわかった上で、在宅など近いところで診ることができる場所を増やしていきたいなという思いがあります。ここで周産期に日常的に関わることができるようになって、赤ちゃんから亡くなるまで文字通り「家族みんな」に関わることができて本当に良かったと思っています。

**高多**●私も来て非常に良かったなと思っています。皆さん尊敬できる医師ですし、チームがみんなで患者さんを守ることを一生懸命考えている。医師だけでなく、その他の職種も含めてチームでコミュニケーションをとって。その中に自分がいることが自分の成長にもつながっていると思います。家庭医の先生や、内科の先生から質問をされて産婦人科医の自分も気付かされる事を多く感じます。「家族みんなの医療センター」はこのような体制を日本でいち早く取り入れているところですし、今後日本のどこでもやらなければいけないことだと思います。良いモデルになれるように努力していきたいですし毎日が充実しています。

※家族みんなの医療センター：産婦人科、家庭医療科、緩和医療科が一体となって赤ちゃんから亡くなるまでの「総合診療」を行う医療チーム。

※ラジオなおお：石川県七尾市のコミュニティFM局。毎週水曜日「安心マイライフ」という番組に恵寿総合病院の医師が出演している。





# 津川 浩一郎

ドクターインタビュー

Vol.2



## 【ご略歴】

金沢大学附属病院第2外科(乳腺内分泌外科担当)勤務  
聖路加国際病院 プレストセンター 乳腺外科 勤務  
2010年9月より聖マリアナ医科大学外科学乳腺・内分泌外科 教授

特集

## 女性の一生に寄り添う医療

# トップランナーに聞く

恵寿総合病院OBで、全国で活躍中の先生を取り上げるコーナー。

第2弾は、乳がん治療の第一人者で、メディアにも名医として取り上げられている  
聖マリアナ医科大学・津川浩一郎先生に登場していただきます。

**津川**●まず病院が非常に綺麗になりましたね。私がいた頃(1997年)と随分変わって驚きました。(上空連絡通路を指し)以前は病棟間の通路は地下にありましたが、今はスカイブリッジですね。病院でスカイブリッジがあるのは私が知るかぎり、聖路加国際病院とMDアンダーソンがんセンター(テキサス州)だけです!

**鎌田**●津川先生がおられた時代はこの場所に看護師寮と駐車場がありました。それらを取り壊し2013年に新病棟が竣工しました。旧病棟とは上空連絡通路で連結し、急性期の患者さんが病状の回復に沿って新病棟から旧病棟へとステップダウンしていく仕掛けとなっています。1997年当時は外科医(現・消化器外科)として赴任されましたが、どうして乳がんの専門医になろうと思ったのですか。

**津川**●恵寿の前は筑波の分子生物学研究所で1年半「胃がん」の研究を行っていました。恵寿で臨床に戻り、勘が戻ってきたころに教授より乳がんの道を勧められ、一晩考えて「同じ「がん」だし」ということでお話を受けました。当時は新しい抗がん剤や治療法がどんどん出てくる時期

で新しい知識を勉強するのに精一杯でした。そんな時期にテキサス州のサンアントニオで乳がんの学会が4日間あり、その学会が非常に面白かった。世界の権威の講演を聴いて乳がん一本で行こうと決めました。現在は、川崎にある聖マリアナ医科大学附属病院がメインで週1回の外来診療と手術、そして新百合ヶ丘にあるプレストセンター(プレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック)という乳がんの専門クリニックで週1回の外来診療を18時までやっています。

**鎌田**●外来患者さんにとって午後診療はありがたいですね。恵寿総合病院では乳腺外科を標榜し、消化器外科医が外来診療を行っています。乳腺専門医も週一回乳腺外来をやっています。能登の外科医には乳がんをやっている人はあまりいないこともあって、私が認定医を取ろうと思っています。乳がん治療は手術のような外科的な部分もあり薬物療法のような内科的な部分もあります。個人的には面白い分野だと思うのですが、残念ながらその道に進む医師は少ないのが実情です。そのことについてどう思われますか?



(インタビュー)

## 鎌田 徹

Kamata Toru

恵寿総合病院副院長、消化器外科科長

ドクターインタビュー

Vol.2

## トツプランナーに聞く



## 津川 浩一郎

Tsugawa Koichiro

聖マリアンナ医科大学外科学乳腺・内分泌外科 教授

津川●「乳がん」は女性のがん罹患率第1位であり、いわゆるコモディティーズですから、乳がん検診と診断はしっかりやらなければなりません。つまり、能登のような人口減少地域でもプライマリの診断ができる医師がいなければなりません。例えば、乳房再建手術は金沢で行うとしても、普段の治療、化学療法や放射線治療、さらに言えば緩和ケアができる医師が地域には必要です。医師のキャリアアップに関して言えばやはりサンアントニオなどの国際学会でひたすら勉強すると良いと思います。

鎌田●聖マリアンナ医科大学では乳がんの手術件数も日本有数ですよ。

津川●(ランキング本によれば)全国3位です。昨年度は737件の手術を行いました。2位の病院で800件~900件、1位は1200件です。私自身孫もできておじいちゃんになってしまったので、今後は松本尚教授(日本医科大学千葉北総病院※前号Vol.1に登場)のように大学病院の経営や後進の教育にも力を入れて行かなければならないと思っています。

鎌田●七尾にいた頃はお子さんも小さかったですよね。

津川●当時1歳だった子供も成人し、孫が1歳になります。七尾の思い出は春夏しか知らないのですがやはりお祭りですね。5月の青柏祭や8月の石崎奉燈祭<sup>いっさきほうとうさい</sup>にも行きました。当時は高校時代の同級生が七尾に多くいたので夏は集まってバーベキューをしたり地元のお祭りに呼んでいただいたり奉燈キリコ<sup>ほうとう</sup>を担いだりと楽しかった思い出があります。

鎌田●話を戻しますが、先生から見た恵寿の乳がん診療施設としてのアドバイスをお願いします。

津川●先程申し上げたように患者さん自体はいますし、女性の病気なので口コミがあれば増えると思います。乳がん検診をしっかりやるのと診断をしっかりやるのと普段の治療、薬物療法や放射線治療ができることが大事です。

また、プレストセンターのように専門のクリニック化や、婦人科と手を組んで女性外来を開設するという手もあると思います。医師は男性だったとしても、検査や放射線技師などの職種を女性にして、専門家を集めるといった手もあります。あとは先生の下に熱心な若い医師をいかに育てるかだと思います。



※石崎奉燈祭: 青柏祭、七尾港まつりとともに七尾市の三大祭のひとつで、能登地方に数多く点在する奉燈(キリコ)祭の中で最も勇壮華麗と言われる。「キリコ」または「奉燈」と呼ばれる高さ数メートルの巨大な灯籠を使うことを特徴とする。2015年4月、文化庁は日本遺産の最初の18件の一つとして「灯り舞う半島 能登 ~熱狂のキリコ祭り~」を選んだと発表した。

# オリベ内科医院

内科、呼吸器内科、アレルギー科、胃腸科

## Profile

### 織部 芳隆 先生

おりべ・よしたか

1998年3月 東海大学医学部卒業  
 2004年4月 恵寿総合病院呼吸器科  
 2004年12月 金沢大学大学院医学系研究科内科学  
 博士号取得  
 2009年4月 金沢医療センター呼吸器科を経て  
 2013年4月 オリベ内科医院 副院長



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～13:00	○	○	○	○	○	○	/
14:00～18:00	○	○	○	○	○	△	/

休診日：日・祝 / 土曜日 15:00 まで



〒920-0901  
 石川県金沢市彦三町1-5-33  
 TEL 076-222-0781

今年で開院 85 年を迎えるオリベ内科医院。  
 在宅療養支援診療所として、24 時間体制で地域の皆さん  
 を支えています。  
 3代目となる、副院長・織部芳隆先生にお話を伺いました。

● **まず、貴院の特徴をお教えてください。**

高血圧や糖尿病などで受診される高齢の方が多くのです  
 が、喘息や慢性の咳で困っている若い方の受診も増えてい  
 ますので、私の専門領域である呼吸器・アレルギー疾患の  
 診療にも力を入れています。10 月からは、通院患者さんか  
 らの要望に応えるため、必要な検査機器を揃えるなどして、  
 禁煙外来をスタートすることにしました。禁煙に挑戦したい  
 と思われる方は、ぜひお越しいただきたく思います。

また、在宅療養支援診療所への登録もしており、通院が  
 難しい患者さんや住み慣れたご自宅での治療を希望される  
 患者さんの診療も行っております。

● **在宅療養支援診療所への登録は、先生がこちらへ戻られ  
 てからだとお聞きしました。**

勤務医をしている時にはできなかった自宅での初期対応  
 や、必要なら患者さんがご自宅で最後まで過ごせるよう  
 にお手伝いをしたいと考え登録に至りました。実際に在宅療  
 養支援診療所となり、24 時間 365 日、地域の患者さんを  
 サポートしていく体制というのは心身ともに大変ですが、開  
 業仲間の先生方や近隣の総合病院の先生方に助けていた  
 だき、続けることができています。これからも積極的に地域医  
 療に貢献していきたいと考えています。



● **恵寿金沢病院との連携についてどのようにお考えですか。**

こちらで出来ない CT 検査、ご自宅で療養されている患者  
 さんの受け入れや、在宅への復帰支援を行っている地域包  
 括ケア病床を使わせていただいています。今後は、肺炎や  
 喘息発作など急性期の疾患もどんどんお願いしたいと思っ  
 ています。

● **地域の皆さんへメッセージをお願いします。**

風邪など少しでも心配なことがありましたら、お気軽にご  
 来院いただければと思います。一人ひとりの患者さんのお  
 話を丁寧に聞いて診ていく、ということをお心がけていま  
 すので、ご安心ください。

喘息や慢性の咳の専門医は開業医ではまだ少なく、大き  
 な病院でしか診てもらえないのが現状です。私が呼吸器内  
 科の専門医として、辛い思いをされている患者さんに寄り  
 添って診療いたします。







かきざわ

## 快適な 人間ドックに向けて

作間 亜紀

SAKUMA AKI  
【恵寿金沢病院 人間ドックセンター 受付担当】

2008年に入職以来、人間ドックのご案内送付から申し込み受付、請求書類の作成など、ドックに関わる事務全般を担当しています。入職当初は受診される方の日程調整がうまくいかず、予約が3月に集中してしまい、冷や汗をかく思いをしたこともあります。現在は、快適にドックを受けていただけることを日々意識し、業務にあたっています。

### 恵寿を選んでいただけるように

ドックを受けられる方は、旧NTT西日本金沢病院の関係もあり、現在もその社員の方が大半です。一度受診された方には今後も継続していただけるよう、初めての方や地域の皆様にも気軽にご利用いただけるよう、待ち時間の短縮、オプション検査項目の追加や見直しなどを行っております。また、恵寿総合病院（七尾市）の健診施設とも連携を取りながら、ご要望にあわせた様々なプランをご提案いたします。



【大切な仕事道具】  
皆様と繋がる大切な仕事道具です。受診に際してのご要望など、沢山の「声」をお聞きできるような努めております。



【作間さんの職場】  
頼りがいのあるスタッフとともに、明るく業務を行っています。

### 恵寿金沢病院 人間ドックセンターとは…

金沢の中心街に位置し、ひがし茶屋街など歴史や文化の薫り高く閑静な地域にある健診施設です。  
日帰りから入院ドック、気になる検査項目、希望の日程など、ご相談をお聞きしながら、その方に合った人間ドックをご案内しております。  
お問い合わせ TEL 076 - 220 - 9152



ちぢお

## 清潔・安全な環境を 保つために

土岐 悠祐

TOKI YUSUKE  
【オリックス・ファシリティーズ株式会社  
中部営業部 北陸支店 恵寿総合病院事業所 所長】

当社は恵寿総合病院をはじめとする、董仙会各施設の清掃管理を受託しています。病院は年中稼働しておりますので、私たちの業務も365日、休むことなく行われます。院内での清掃は、患者さんをはじめとする「人」との関わりが多いですので、私から清掃従事者の方には、「あいさつ」「勤務態度」「マナー」をしっかりと求めています。

### 「けいじゅの一員である」という気持ちをもって

当院での清掃管理にあたり私たちは、モットーとして「けいじゅの一員である」という気持ちを特に意識しており、患者さん目線を持った清掃が行えることを目指しています。2013年の本館竣工時においては清掃管理にもいろいろと変化があり、大変な面もありましたが、病院スタッフの皆様と打合せを重ねながら、スムーズに清掃を行えるようになりました。なお、この取り組みは社内でも認められ、社長賞を受賞させていただきました。



【大切な仕事道具】  
清掃には多種多様な道具を用品ですが、このカートに道具を積んでいます。現場の清掃従事者は、各自のカートで院内を回りながら清掃を行います。



【土岐さんの職場】  
「日々改善して、病院の美化に貢献してまいります」この言葉を胸に刻んで、清掃業務を行っています。

### オリックス・ファシリティーズ株式会社について

オフィスビルなど様々な施設運用のパートナーとしての業務を行っており、医療・福祉施設は全国で590棟の管理実績があります。(2015年6月末現在)  
董仙会では、恵寿総合病院を中心とした各施設の清掃管理業務を担当しており、清潔・安全な環境維持を支えています。

# 知の創造 技の熟練

(Keiju Innovation Hub)



Main Lab

キーワードは、「知の創造 技の熟練」。

「Keiju Innovation Hub」は「カンファランスセンター」と「シミュレーションセンター」の2つの機能を併せ持つ新施設です。

2015年10月13日(火) オープン

<http://www.keiju.co.jp>



社会医療法人財団 董仙会  
(けいじゅ ヘルスクエア システム)

恵寿総合病院